

令和5(2023)年度 住まいとコミュニティづくり活動助成 活動中間報告

団体名

森の里朝市運営委員会

活動のテーマ

地産地消で地域を活性、高齢者に優しく子ども達に元気を与える活動拠点“森もり市”

9月までに達成できた事項(箇条書き)

1. 森の里朝市は5月13日の初市で盛大に幕を開けスタート。それを祝う開市式には市長、関係者、マスコミが出席され、市長からは地域活性化、地域振興、地産地消、地域福祉への厚い期待を頂く。
2. 5月から9月までの朝市は、計画通りに10回、台風の影響、小雨降る雨上がりもありながら中止することなく開催した。10月以降は残り6回、好天に期待、上期来場平均100人/回以上を目指す。
3. いずれの開催日にも下記様々なイベントを同時開催、助成金活用で朝市の魅力が高められた。
ハープ歌唱、ギター歌唱、大道芸、マジック、オカリナ演奏、大旗振り、野菜の花あてクイズ
4. 朝市情報発信用インスタグラムを立上げ、7月に公開。朝市全出店者の写真と紹介文を添える。
5. 朝市の活動をアピールするHPを作成、8月に公開。ここで念願の情報発信ツールの整備が完了。財団助成金活用によるこの成果は本活動を継続的に大きく発展させるものと考えます。
6. 財団助成を契機に森の里朝市と活動理念を共有する農福連携事業をスタート。地域交流の促進を目標に森の里朝市の地域住民、福祉団体、企業、大学の4者が揃い、畑作業を行い、収穫を楽しみに継続中。7、8月の異常高温に参加作業者は苦戦の連続も野菜はすくすくと育つ。
7. 昨年に続き、森の里小学校の特別支援学級で育てた野菜の販売を支援。7月2回実施、即完売。

今後の活動予定と令和6年3月末時点の達成予定事項

今後の活動予定

1. 朝市は10月から12月年末「とめ市」まで計6回を開催。
2. 同時にイベント開催を月1回以上行いかつ、それを含めた全容をSNSの活用で子育て世代にも朝市を活用して頂けるよう朝市魅力UPへの情報発信を行う。Twitter ハツイキャスでライブを配信。
3. 上期からの農業体験を通して相互理解を深める農福連携事業を継続。秋植え野菜の植付け行う。収穫となる12月に福祉団体のイベントに提供、協賛し、地域との交流、親睦を図ります。
4. 朝市出店者の生産現場やインタビュー動画を撮影・編集して、学校給食の際に放映、子供達に身近にいる生産者や食品への感謝の気持ちを醸成する食農(育)教育を試みます。

令和6年3月末時点の達成予定事項

1. 高齢者や障がい者の買い物苦勞の解消に一助となっている。
2. 新鮮な地元生産物の販売とそれを求めて集まる各世代間交流の場が提供出来ている。
3. 家庭、学校、地域の皆様に喜んで頂き、もりもりとした元気が与えられている。
4. 農福連携事業の実行により地元住民と障がい者に触れ合う場が提供出来ている。

森の里朝市運営委員会

神奈川県厚木市

地産地消で地域を活性、高齢者に優しく子ども達に元気を与える活動拠点“森もり市”



5月初市の開市式



来場者の行列



高齢者に無料宅配サービス実施

活動に至った理由と背景

森の里は、1980年代から大規模住宅地として開発され、現在に至ると若者の転出増と子育て世代の進まぬ転入で、厚木市内で最も高齢化率の高い(44.7%)地区です。

地区内には中央に1軒のスーパーマーケットがあるものの、コンビニなどの他店舗はなく、免許を返納した高齢者や車を運転しない人には地区外まで買い物に行くのが大変不便となっています。

そこで地域有志は高齢化した住宅地を「住み続けられるまち」に進化させる仕組みとして高齢者の買い物対策「朝市」を企画。地域内には家庭菜園を営む住民が多く、また近隣地区には農家が多いことから野菜の販売を呼びかけ、賛同が得られ、2022年4月森の里朝市運営委員会を設立した。

住宅地の狭い公園駐車場で開くこじんまりとした朝市です。今、それを拠点としてでも活動する理由は以下であり、「地域活性化」、「地域福祉向上」、「子育て世代の流入」、「コミュニティの場」、「住み続けられるまち」を目指します。



朝採れの新鮮野菜



近隣地区の地元産



朝市で推進 地産地消

9月までの活動の進捗状況

1. 朝市開催イベント

5月から計10回の朝市を開催。そのいずれの開催日にも下記様々なイベントを同時開催、助成金活用で朝市の魅力が高められた。また子供達には元気を与える活動拠点になろうとしている。



ハーブ演奏と歌唱



ギターシンガーと記念撮影



オカリナ演奏



大道芸



マジックショー



朝市を盛り上げる大旗振り



森もり市HPの先頭画面



HP巻末に記載のコンセプト
地域の活性化
地産地消
地域福祉の増進
コミュニティの場
子育て世代の流入

2. 森もり市ホームページ

朝市情報発信用インスタグラムを立上げ、7月に公開。朝市全出店者の写真と紹介文を添える。

先に公開中のX(旧Twitter)にはツイキャスにて朝市会場出店者のライブ配信を実施。

更に朝市の活動をアピールするHPを作成、8月に公開。

ここで念願の情報発信ツールの整備が完了。今後は、SNSやHPを通して子育て世代や若者世代にも朝市を活用して頂けるようその魅力を情報発信していきます。

財団助成金活用によるこの成果は本活動を継続的に大きく発展させるものと確信します。



「大山詣り」の大山をバックに撮影の農福連携参加メンバー

3. 農福連携事業

財団助成を契機に森の里朝市と活動理念を共有する農福連携事業をスタート。地域交流の促進を目標に森の里朝市の地域住民、福祉団体、企業、大学の4者が揃い、畑作業を行い、収穫を楽しみに継続中。7、8月の異常高温に参加者は苦戦の連続も野菜はすくすくと育つ。



畝作り



里芋畑



さつま芋苗の植付け

今後の活動予定

朝市は年末までに計6回を開催。同時にイベント開催を月1回以上行う。それを含めた全容をSNSの活用で子育て世代にも朝市を活用して頂けるよう朝市魅力UPへの情報発信を行う。農福連携事業を継続、地域の交流を促進します。